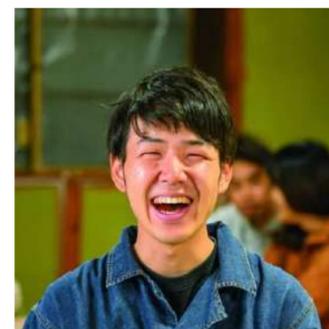




SET NPO法人

2020年度 年間報告書

2020/09 ~ 2021/08



デザイン/イラスト
渡邊奈緒 宮内航

編集部
角田華純 野村美並 深澤碧
吉原直矢 荷川取佑太

監修
三井俊介 薄井大地

Special Thanks
上田彩果 Trine Villemoes
戸谷咲良 廣瀬太陽 森田諒
野尻悠 水口拓未



代表挨拶

三井俊介

特定非営利活動法人 SET 理事長
 特定非営利活動法人 高田暮舎 理事
 特定非営利活動法人新公益連盟
 北海道・東北ブロック共同代表
 東北大学技術補佐員 / 宮城大学 非常勤講師
 元陸前高田市議会議員 (2015年9月~2019年9月)
 地域政党とうほく未来創生副代表
 2011年4月6日、陸前高田市への
 初めての現地入りの時、広田町と出会う。



これからの時代の「新しい豊かな暮らし」を探究する

2020年度はコロナ一色でした。感染の波によって、事業もその都度、判断を迫られ、非常に大変な時をメンバーと、そして町の方々とともに過ごしてきました。対面での交流が非常に難しい中で、オンラインをうまく使いながら、それでも私たちSETは、直接顔を合わせ、一緒に空間で過ごすことの大切さを握り締めながら、さまざまな苦難を乗り越えてきました。2019年度の経営難を乗り越え、新しい姿に力強く生まれ変わる、そんな年だったと思います。2021年度は、制限された中ではありますが、これまでよりも対面での交流がしやすくなります。

そしてこの1年半の間にゆっくりじっくり育ててきた、私たちが考える「新しい豊かな暮らしの形」が少しずつ見えてくるかと思えます。それをぜひ皆さんと分かち合いながらこれからの暮らし、そして日本、地球にとって良い状態、持続可能な状態を目指して活動をしていきたいと思っています。SETでは所属メンバーで「こんな社会になったら嬉しい」という「願い」を「Wish List」にもまとめました。社会への願いを表明し、共鳴くださる方の輪を広げ、手を取り合いながら、社会に少しずつ実装していきたいと思っています。

団体紹介



~NPO法人SETとは~

■Mission(どんな社会を夢見るか)

一人一人の「やりたい」を「できた」に変え、日本の未来に対して「Good」な「Change」が起こっている社会を創る

■Vision(子のためにSETは何をするか)

人口が減るからこそ豊かになる
 ひとつづくり、まちづくり、社会づくり

■SETの沿革

2011年3月11日 東日本大震災発生
 2011年3月13日 被災地支援のため任意団体『SET』設立
 2013年6月18日 任意団体から「特定非営利活動法人SET」へ
 2020年 新型コロナウイルス発生でサポーター制度を開始
 岩手町で中高生向けキャリア教育事業を開始
 2021年 葛巻町でChange Maker Study Program事業を開始
 ~現在 広田町、陸前高田市全域、岩手県各地で活動

※活動実績などはNPO法人SET HPを参照

■受賞歴

◇令和元年度あしたのまち・くらしづくり活動賞
 内閣総理大臣賞受賞 (2019)
 ◇第13回 マニフェスト大賞
 最優秀シティズンシップ推進賞受賞 (2018)

■メディア掲載

◇新聞
 東海新報、河北新報、岩手日日、岩手日報、読売新聞、産経新聞 など
 ◇テレビ
 NHK総合、NHK Eテレ、日本テレビ、岩手朝日テレビ など
 ◇雑誌
 TURNS 『人と地域が共に成長するコミュニティ』
 (第一プログレス2020.12)
 ソトコト (RR 2018) など

今年のハイライト

この一年、各事業部様々な活動を行ってきました。そんなSETの数多くあるエピソードの中から、約150人のSETメンバーより選ばれた、今年度だからこそその活動エピソードをお伝えします。

交流部 ChangeMakerPorgramチーム CMSPの復活と他地域への展開



コロナの影響により中断していた『大学生の訪問活動』が復活しました。今年度は、広田町のみならず、葛巻町、陸前高田市矢作町、小友町に実施地域を拡大しました。今後も、活動範囲を拡大していきます。

交流部 民泊チーム 一年半ぶりに民泊を実施できました！



8月に、岩手県葛巻町の中学生4名が広田町民泊を体験しました。コロナ禍での初めての民泊となり、実際に人が訪れました。参加者も受け入れ家庭の方も楽しんでいる姿を見ることができてとても嬉しかったです。

暮らし部 コミュニティビジネスチーム 本格的にチームとして始動！



21年6月~本格的に”チーム”として活動を開始。足元にある「暮らし~衣食住~」に注力し、長い視点で思考や施策を実施しています。一人一人のやりたい気持ちを大切に、メンバーと切磋琢磨して頑張っています！

事務局 コミュニティマネジメントチーム SET X 特別企画の開催！



SETは2021年3月に団体設立十周年を迎えました。そこで「SET X 企画」と題し、SET内のコミュニティ活性を推進しました。上半期のフィナーレイベントでは、企画者の想いや実施内容を紹介し喜び合いました。

交流部 中高生向けキャリア教育プロジェクト 最後の出発式、たかぶろフェスティバル！



7年間の陸前高田市での活動をみんなで笑って泣いて噛み締めた場でした。今までたかぶろに関わってくれた全ての中高大学生へのリスペクトと感謝を胸に、今後は、岩手町で活動を進化・深化し続けていきます。

暮らし部 ChangeMakers'Collegeチーム World camp Nordfyns！オンラインで挑戦！



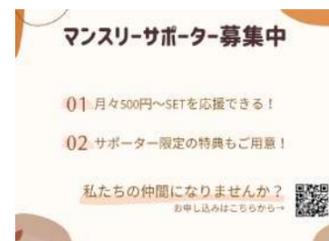
2020年10月より計画していたデンマークのフォルケホイスコーレの高校「Nordfyns Høhskole」との共同プログラムをオンラインで実験的に行うことができました。Global Issueに国境を超えて向き合うことができました。

研究部 SET独自のアカデミックボード設置！



SETの事業の価値を学術的に論証し、関係者や社会にとって意義あるものにしていくためにSET独自のアカデミックボードを整備しました。実践活動と論証活動を組み合わせることで社会変革を加速的に推進します。

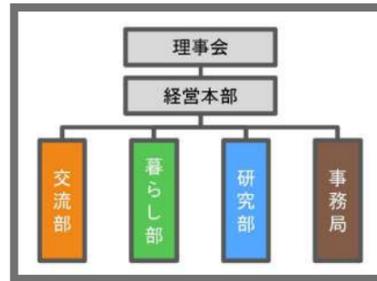
事務局 広報ファンドレイズチーム 賛助会員から「マンスリーサポーターへ」



2020年に開始した賛助会員制度は役割を終え、マンスリーサポーター制度を新たに開始しました。SETの寄付基盤を整えていくことで、より安定した強い組織に生まれ変わっていきます。今後とも応援よろしくお祈りします。

活動報告

- 交流部
- 暮らし部
- 研究部
- 事務局



SETの組織図

SETは、理事会、経営本部の下に4つの事業部に分かれて事業を推進しています。また、各事業部内には通年で活動をする「チーム」（大規模）、「ユニット」（中規模）と期間限定で行われる「プロジェクト」が配置され、専門性を活かした活動を行っています。

中高生向けキャリア教育プロジェクト



**1年間で関わった中高生151名
立ち上がったプロジェクト24個
大学生運営スタッフ40名 町の方34名**

たかぶろ（陸前高田市）では、高校生大学生が「気仙大人図鑑」を作成しました。さらに、歴代メンバーで集まり陸前高田での活動を区切りました。
いわぶろ（岩手町）では、岩手県立沼宮内高校での授業実施から始まり、大学生が高校生のマイプロジェクトへ個別伴走支援を行い、地域の大人も招待した発表会を実施しました。



企業-行政職員向け研修ユニット



連携市区町村 2自治体（岩手町・野田村） 役場研修人数 合計11人

岩手町若手職員研修では、広田の海の魅力を町の人に伝えるアートと手紙の作成を行いました。
岩手町中堅職員研修では、広田の生産者と繋がり、広田町と岩手町で一次製品の交流を生むための仲間集めを行いました。
野田村若手職員研修では、海の魅力を磨くために、ビーチクリーンとそのユニフォームの作成を行いました。



ChangeMakers' Collegeチーム



カレッジライフデザインコース 参加者 計12名 内、3名が地域に継続移住

Change Makers' College「ライフデザインコース」では、合計12名が参加しました。元々広田町に移住する予定がなかった若者が3名移住し、卒業後はコミュニティビジネス事業の立ち上げを行う卒業生がいます。



ChangeMakerPorgramチーム



運営スタッフ数45名 プログラム参加者92名 町の方28名 12個のアクションを実施

コロナの状況を鑑みた結果、今年一年間はオンラインでのアクションや地域住民の方々との交流を行い、1年間で計137名の学生と、計28人の町の人、計13個のアクションを創出しました。
オンラインでも町の方々と大学生の素敵な出会いの場をつくることができました。



コミュニティビジネスチーム



ぴいろた組合（産地直送お野菜便） 登録家庭9世帯/生産者12名/企業1社 カフェ彩葉来店者500名

コミュニティビジネスチームが6月に正式に結成し、本格的にSET内外のコミュニティ形成に力を入れ始めました。広田町内で産地直送のお野菜便をお届けする「ぴいろた組合」を再開し、登録家庭/生産者/企業を増やすことができました。また、2018年6月に開店した古民家カフェ「cafe彩葉」は、今年で3周年を迎え、来場者が500名を突破することができました。



～活動成果～

**4つの市区町村で
190名のSETメンバーと
275名の参加者と
約70名の町の方と
共に活動することができました！**



陸前高田市移住者 23名

研究部



自主研究調査 2本 外部連携調査 3本、意見書 1本 計6本

研究部では、今年一年間で計6本のレポートをHP上に公開しました！自主研究調査では、CMC卒業生や賛助会員向けのアンケートを実施しました。外部連携調査では、広田町民に向けて地域交通の現状調査や交流事業が社会資本/経済に与える影響に関する調査を実施しました。意見書としては、東北で活動するNPO法人と共同で10年の活動をまとめ国に提出しました。



コミュニティマネジメントチーム



コミュニティ内で20個の企画を実施 新規人事制度の導入

SET内コミュニティの活性化を目指し、20個のSET内向け企画を推進しました。また、人事制度を刷新し、メンバーのスキルや得意分野をまとめたタレントプール制度、各事業部とメンバーのマッチングなどを運用し、やりがい生まれる組織制度を作りました。



民泊チーム



高田民泊への参加者9名 ・陸前高田市内の移住者5名 ・葛巻町の中学生4名

昨年、新型コロナウイルスの影響を最も受けた民泊事業ですが、感染症対策を徹底した上で、一年半ぶりに外部の人の受け入れを実施することができました。また、観光庁が主催する「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」に採択され、民泊中に使えるコンテンツ（防災カルタ、漁協(乗船)体験、船大工体験）の開発に取り組みました。



広報ファンドレイズチーム



広報FRチーム発足、 マンスリーサポーター制度運用開始、 公式note、公式LINE@リリース！

SET全体の広報活動を統括する広報ファンドレイズチームが発足しました。活動報告をする各種SNSの運営やHPの更新、寄付ページの作成等を行いました！今後は、外部向けのイベント等も実施する予定です。



Wish リスト ~私たちの願い~

私たちは、一人一人のMission（社会への願い）を語り合い、理解し合い、共感し合うことで、SETとしての社会への願い「Wish List」の完成を目指しています。



チームで作る



Wishリストを書く
メンバーが書いたものが集まる



対話を繰り返す

なぜ、社会語リなのか？



長期化するコロナ禍

新型コロナウイルスによって大きな打撃を受けたSET。このコロナの状況は長期化します。今まで以上に予測不能な未来に向けて、結束力を高め、より持続可能な組織の形に変えていく必要がありました。



社会語りで理想を統合していく

コロナ化でどのように希望を見出すか？
私たちは、一人一人が願いを語り、それを統合していくことで、SETとして目指す理想の未来を形にしていきました。自分を語ることから始めて、対象を会社やチーム、社会へと広げながら、希望を見出していきました。



社会語りをムーブメントに

そうして見えた希望はSETのメンバーだけでは達成できません。私たちに関わる皆さんと手を取り合いながら、未来の願いを語り、「自分の行いたいことで社会をよりよくする個人」を増やしていきたいです。

SETDAYSで何をしたのか？

4半期に一度、SETメンバーが集まり、団体の理念のアップデートや、進みたい未来を語り合うイベントを実施しています。今回のSETDAYSでは、2日間かけて社会語りを実施し、SET全体としての願いをWishリストにまとめました。約50人のメンバーが集まり、社会語りに費やした時間は約11時間、20個以上の社会課題と向き合いました。

事前課題を提出



事前課題で、自分の作りたい社会、関心のある社会課題をリストアップ！



白黒はつきりしなくてもいい。一人一人のグラデーションを認めて、共に生きていきたい！

グループで社会語リ



8つのグループに分かれて、互いの社会への願いを重ね合わせる

人生何度でもやり直せると信じられる社会を作りたい！
誰もが、自分らしく幸せを感じられるといいな。



Carry on the Dialog!
対話を続けることが大切。
そんな関係性を多くの人と！



私たちの理想の社会を表現！



ロゴ作成、演劇、イラストなど、自分たちの理想の社会を自由に表現しました。

各チームの発表内容
近日公開予定！

普段の生活が地球を美しくする活動につながるいいな〜。
パソコンを使っただけ、植樹団体に寄付がされるとか...



今後のムーブメント

私たちと一緒に社会を語りませんか？

SETが理想とする社会を作るためには、過去、未来、そして今の社会に対して、常に好奇心と問いを持ち続けて対話を続けていくことが大切だと考えています。

課題を論じるだけでなく、理想の社会を描き、アクションを重ねていく。そんな社会を語り合う会を皆さんと一緒に作っていきましょう。

イベント詳細

主催者：代表 三井俊介+ゲスト
形式：トークテーマに合わせて
パネルディスカッションと対話
頻度：毎月第一土曜日朝8~9時
※2022年1月から開催予定

最新情報はSET公式LINE@にてお知らせします！
お友達登録はこちらから→



収支報告

2020年9月1日から2021年8月31日まで

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	88,052	
賛助会員受取会費	109,000	197,052
2. 受取寄付金		
受取寄付金		1,135,532
3. 受取助成金等		
受取民間助成金		14,288,594
4. 事業収益		
売上高	1,151,093	
シンポジウム参加料収益	5,156,160	
家賃収入	2,498,167	
その他収入	1,713,240	
業務委託収入	12,404,269	22,922,929
5. その他収益		
雑収入	6,768,599	
受取利息	94	6,768,693
経常収益計		45,312,800
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	1,980,000	
給料手当	15,317,894	
法定福利費	1,838,516	
人件費計	19,136,410	
(2) その他経費		
その他経費計	36,226,088	
事業費計		55,362,498
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	180,000	
給料手当	743,626	
法定福利費	96,764	
人件費計	1,020,390	
(2) その他経費		
その他経費計	1,435,279	
管理費計		2,455,669
経常費用計		57,818,167
当期計上増減額		-12,505,367
III 経常外収益		
前期損益修正益		311,000
経常外収益計		311,000
IV 経常外費用		
前期損益修正損		548,001
経常外費用計		548,001
繰引前当期正味財産増減額		-12,742,368
法人税、住民税及び事業税		82,000
当期正味財産増減額		-12,824,368
前期繰越正味財産額		12,488,841
次期繰越正味財産額		-335,527

今年度理事紹介



岡田 勝太
副理事長
※来年度も継続
暮らし部 部長
Change Makers' College チーム長
コミュニティビジネス チーム長



吉田 勇佑
理事
※来年度も継続
株式会社CRAZY 執行役員



上田 彩果
理事
※今年度で任期満了
中高生向けキャリア教育プロジェクト長



大橋 衛
理事
※来年度も継続
デコボコベース株式会社
ディーキャリアITエキスパートマネージャー
(障害者支援)

関わり方紹介

SETの各種事業の特色を生かした、関わり方のご提案をさせていただきます。

行政の皆様へ

行政職員研修



人材育成

地域住民との関係性構築、職員のまちづくり実践力を育む研修を行います。

生涯学習拠点



Well-being

フォルケハイスコラをモデルにした学舎づくりのノウハウ提供、サステナビリティ研修を行います。

中学生教育



探究学習支援

「総合的な探究の時間」に対応した授業の開発サポート、実働支援を実施します。

研究/調査



住民向け地域研究調査

地域住民のアンケート調査、調査データの分析、報告書の作成などのサポートができます。

企業/団体の皆様へ

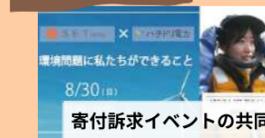
新しい働き方



ワーケーション/研修

自然の中にあるワーケーション施設(4名)の宿泊利用や、農業や漁業体験、1日カフェ店長体験もできます

CSR事業



寄付訴求イベントの共同開催

新規寄付者獲得のため、理念共感を広げることを目的としたイベントの共同開催などを行います。

地域活性事業の協働開発



修学旅行民泊/関係人口

地域活性事業に取り組みたいとお考えの企業の方、ノウハウ提供と実施サポートを行います。

個人の皆様へ

SETサービスの利用



広田町で暮らしを体験

cafe彩葉、set bar、びいろたハウスでワーケーションなどSETのサービスを現地で体験!



広田町にて民泊

ホテルに泊まるだけでは体験できない、地域の暮らしが感じられる民泊でぜひ広田にお越しください。



イベントへの参加

SETが企画した様々なイベントにご参加いただけます。オンラインでも参加可能です。

プロボノとして参画



Webサイト構築etc...

ご自身の得意分野を活かして、プロボノとして事業を直接サポートいただける方を募集しています。

来年度新任理事紹介



石渡 博之

理事
※2021年9月より理事就任
交流部 部長
CMP チーム長



薄井 大地

理事/事務局長
※2021年9月より理事就任
ソーシャルアクションカンパニー株式会社
(actcoin) 取締役COO
認定NPO法人e-Education 理事
情報経営イノベーション専門職大学 客員教員



加藤 遼

理事
※2021年9月より理事就任
IDEAS FOR GOOD Business Design Lab. 所長
サステナブル・ビジネス・ハブ 理事
NPOサポートセンター 理事



吳 哲煥

理事
※2021年9月より理事就任
NPO法人CRファクトリー 代表理事

SET理事のお仕事紹介



理事のお仕事

- ・年4回の理事会を開催
 - ・各理事に担当チームを設けて、2か月に一度1時間の理事セッション
 - ・理事セッションは、SETメンバーであれば誰でも参加可能
- メンバーと理事が一丸となって進めていく体制を作っています。

マンスリーサポーター募集中

01 月々500円~SETを応援できる!

02 サポーター限定の特典もご用意!

私たちの仲間になりませんか?
お申し込みはこちらから→



お問い合わせはこちらまで
TEL/FAX: 0192-47-5747
Mail: set.forjapan@nposet.com



白井 清さん

SETの、私の想像を超えた挑戦しているところが好きです。常に行動をし続けてくれるから、ずっと応援したいですね。毎月寄付をすることは、「今も応援しているよ」という私なりの意思表示です。



木村 徹さん

私から見たらSETは「村の小学校で行われる運動会」です。活躍する小学生(都内から来た若者)を、保護者(若手県の方)が見守り、共に場を作り、皆で成功体験を得る。これからも見守り続けたい存在です。

皆さんの声

今年度関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。
一部ではありますが、そんな皆様のお届けできればと思います。

SET公式noteにて
インタビュー記事を
随時掲載予定！

note



岩手町
町長
佐々木 光司 さま

岩手町では、2年前から若手職員をSETに送り出し、4泊5日の研修を受けてもらっています。研修の前と後とでは職員の目の輝きが断然違いました。みな自分の可能性に気づき、何らかの希望の灯をそれぞれの心に点けたようになりました。多様性、包摂性が問われる現代。新しい価値を創造して行くSETにはさらに期待が高まります。



葛巻町
いらっしやい葛巻推進課 課長
石角 則行 さま

葛巻町では町の最重要課題である人口減少問題の解決策のひとつとして、令和3年度から関係人口創出プログラム—Change Maker Study Program—をスタートしました。この取り組みにより、首都圏の大学生と町民がつながり、新たな人の流れが生まれました。通い続けてくれる学生たちが町にとって欠かせない存在となり、新たな賑わいを創出してくれることを期待しています。



野田村
野田村未来づくり推進課 総括主査
小野寺 修一 さま

SETの皆さんとの繋がりは昨年、石渡くん、咲良さんとの出会いが始まりでした。今年度、村職員の人材育成を入り口として事業がスタートしています。特に、広田町でのフィールドワークで見た、研修生の林崎くん、川崎くんの自然な笑顔が忘れられません。ビーチクリーンから、どのような村づくりに発展するのか楽しみです。



NPO法人コモンビート
ひとりひとりの違いチーム チーム長
上原 紗英 さま

CMC5期・6期でアートクラスを担当しました。参加者のみんなとコミュニケーションを取りながら一つの作品を作り上げるのはとても楽しかったです。期間中は私も広田町に滞在し、豊かな土地の恵みを楽しみながら暮らすこともできました。今後も広田町を舞台に、素敵な表現をたくさん創り出してほしいと思います。



CMC卒業生
石原 来美 さま

以前の自分は評価を気にして外側にしか目線が向いてなかったために、自分が擦り減っているのにも気づかずアクセル全開だったけれど、5期生としてCMCに参加させていただいたことで、自分の内側にも目が向いて、自分の暮らしや自分自身をまず大切にすることを学びました。SETが大切にしている価値観が少しでも多くの人に伝わればなと思います。



岩手県立高田高等学校
高校生参加者

誰かのためになりたいと思って始め、自分のためにも町のためにもなったという実感があり、その人たちの様々な想いも形にできました。もしたかぶるがなかったら今の自分は無く、出会えたことに本当に感謝しています。



SET社会人プロボノメンバー
芦川 宙

本業では、プロエンジニアでスマホのカメラの設計職をしながら、SETでは事務局として活動しています。事務局では、SET内の社内サイトを作ったり若手職員のマネジメント支援を実施したりと基盤づくりに協力しています。本業とは違って、良い意味で、「ちょっとやってみよっかな」と思ったことにすぐに挑戦できる場があり、とてもやりがいを感じています。今後のSETはベンチャー気質を持ちながら、SET全員で相乗効果を起こし、事業を動かしていけたらと思っています。



コミュニティビジネスチーム
生産体制ユニット長
有田 麻梨奈

「びいろた組合」の運営スタッフとして地元食材の配達をしたり、カフェ彩葉でお菓子を製造販売したりしました。ばあちゃんの畑と一緒に野菜を収穫して、繋がりを感ぜられる時間は何物にも代えがたいです。



コミュニティビジネスチーム
むすびめユニット長
下平 咲貴

今年の活動としては、「びいろたハウス」という一棟貸しの古民家をつくりました。広田に遊びに来た方に、じんわりと広田の暮らしを味わってもらい、リフレッシュしていただきたいです！SETは私にとって新しい未来と一緒に描き、挑戦していける場所です。現地メンバーもやりたいことを応援してくれます。心強い仲間である彼らと一緒に、より良い未来をつくりたいです。

